

サルコペニア：病態と対策
～高齢がん患者の理学療法への示唆～

筑波大学 人間系
山田 実

サルコペニア、加齢に伴う骨格筋量減少および筋力低下を示す疾病である。サルコペニアは地域や医療機関など、さまざまなセッティングにおいて各種有害健康転帰に関連すること、さらには治療成績にも影響を及ぼすことが示されている。このサルコペニアに対しては、運動介入、栄養介入のそれぞれが有用であることが示されており、近年ではこれらを併用した介入が重要視されている。本講演では、サルコペニアに対する最新の知見を紹介しながら、サルコペニアを有する高齢がん患者の理学療法を行う上で必要な情報を整理する。